

News Release

2022 年 12 月 13 日

太陽誘電:「CDP 気候変動」最高評価の A リスト企業に初めて選定

— 気候変動対策の取り組みと透明性により、世界の先進企業として評価 —



太陽誘電株式会社(代表取締役社長: 登坂 正一、本社: 東京都中央区)は、国際環境非営利団体である CDP(注 1)から、気候変動対策や戦略、情報開示に優れた企業として、最高評価の A リスト企業に初めて選定されました。

太陽誘電グループは、2050 年までのカーボンニュートラルの実現を目指し、気候変動への対応強化をマテリアリティ(重要課題)として設定しています。2030 年度までに温室効果ガス(GHG)排出量を 42%削減(2020 年度比)するという SBT(注 2)に準じた中期目標を設定し、取り組んでいます。また、「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」の提言に賛同し、気候変動に関するリスクと機会を特定するとともに、世界の平均気温が 4℃および 1.5℃上昇した際の財務影響を含めたシナリオ分析に基づく戦略を立案しました。徹底した省エネ・創エネ・再エネの実行を軸として GHG およびエネルギー使用量を削減するため、積極的な活動を展開しています。

これらを始めとした気候変動対策に関する活動が総合的に評価され、約 18,700 社の評価対象企業の中から、「CDP 気候変動」A リスト企業として選定されました。

太陽誘電グループは、気候変動を始めとする ESG に関する取り組みが経営における機会およびリスクになることを認識し、事業を通じて社会的課題を解決する活動を推進しています。2021 年度よりスタートした「中期経営計画 2025」では、経済価値と社会価値を両輪とした企業価値向上を目指すため、ESG への取り組みに関する数値目標を掲げ、社会価値向上に向けた活動を加速しています。併せて、株主や顧客、サプライヤー、市民社会などのステークホルダーとのエンゲージメント活動の推進、自社ホームページや統合報告書などによる情報開示の充実など、活動を強化しております。

今後も、脱炭素思想に基づくものづくりを推進することを通して、持続可能な社会への貢献と企業価値のさらなる向上に努めてまいります。

太陽誘電のサステナビリティ活動については、当社ホームページ上で公開しております。

<https://www.yuden.co.jp/jp/company/sustainability/>

【参考情報】

2022 年度 CDP A リスト企業

<https://www.cdp.net/en/companies/companies-scores>

各企業のスコア

<https://www.cdp.net/en/responses>

CDP A リストの評価方法、評価基準

<https://www.cdp.net/en/companies/companies-scores>

■用語解説

(注 1) CDP

CDP は、英国の慈善団体が管理する非政府組織(NGO)で、2000 年に設立され投資家、企業、国家、地域、都市が自らの温室効果ガスの排出削減、水資源の保護、森林の保護など環境影響を管理するためのグローバルな情報開示システムを運営している。

(注 2) SBT (Science Based Targets)

SBT とは、科学的根拠に基づいた目標設定のこと。2015 年に定められたパリ協定が求める水準と整合した 5～10 年後を目標年として企業が設定する温室効果ガス排出削減目標を示す。